



( 1 / 3 )  
20230606 評基第 013 号  
2023 年 7 月 13 日

# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JNLA 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: JNLA 050203JP Testing

適合性評価機関の名称: 株式会社中研コンサルタント  
大阪技術センター

法人の名称: 株式会社中研コンサルタント

適合性評価機関の所在地: 大阪府大阪市大正区南恩加島七丁目 1 番 34 号

認 定 範 囲: 2 ページ目以降に記載の 7 区分

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JNLA 認定) に記載した  
認定要求事項

認定発効日: 2021 年 8 月 31 日

認定の有効期限: 2025 年 8 月 30 日

初回認定発効日: 2005 年 8 月 31 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齋藤和則

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

試験所名 : 株式会社中研コンサルタント 大阪技術センター  
 試験所所在地 : 大阪府大阪市大正区南恩加島七丁目 1 番34号  
 実施する業務 : マネジメントシステム運用、試験実施及び結果の報告 (全認定範囲)

<認定範囲>

認定発効日：2021年8月31日							
分野名称	試験する材料又は製品	試験の種類(試験方法の区分の名称)	構成要素、パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	特記事項		
土木・建築	建築材料	レディーミクストコンクリート試験	スランプ値、空気量、スランプフロー	試験方法規格 JIS A 1101 JIS A 1128 (ただし、附属書Aを除く)	-		
				これらを引用する規格 JIS A 5308 10.3及び10.5 JIS A 6204 6.2.7 a)及び6.2.7 b) JIS A 6205 5.3.6 a)及び5.3.6 b)	-		
	骨材試験	粒度、微粒分量、単位容積質量・実積率、有機不運物含有量、密度、吸水率、すりへり減量、安定性、粘土塊量、アルカリシリカ反応性	試験方法規格 JIS A 1102 JIS A 1103 JIS A 1104 JIS A 1105 JIS A 1109 JIS A 1110 JIS A 1121 JIS A 1122 JIS A 1137 JIS A 1145 (ただし、8.3はa)に限る) JIS A 1146	-			
				これらを引用する規格 JIS A 5001 5.2、5.3及び5.4 JIS A 5002 5.6、5.7、5.8、5.9及び5.10 JIS A 5005 7.2、7.3、7.4、7.5、7.6、7.7及び7.8 JIS A 5011-1 6.3 a)、6.3 b)、6.4、6.5及び6.6 JIS A 5011-2 6.2.2 a)、6.2.2 b)、6.2.3、6.3.1、6.3.2及び6.4 JIS A 5011-3 6.2.2、6.2.3、6.3.1、6.3.2及び6.4 JIS A 5011-4 6.3、6.4、6.5、6.6及び6.7 JIS A 5011-5 7.2.2、7.2.3、7.3及び7.4 JIS A 5015 7.4、7.6、7.7及び7.8	-		
				コンクリート・セメント等無機系材料強度試験	コンクリートの曲げ強度、圧縮強度、静弾性係数、セメント圧縮強さ、練り混ぜ水のモルタルの圧縮強さ	試験方法規格 JIS A 1106 (ただし、供試体の作製を除く) JIS A 1108 (ただし、供試体の作製及び附属書Aを除く) JIS A 1149 JIS R 5201 11 (ただし、曲げ試験を除く)	-
						これらを引用する規格 JIS A 1107 (ただし、4を除く) JIS A 1142 6.5 JIS A 5002 5.14 f) JIS A 5308 10.2.1、10.2.2、附属書CのC.8.1.8 (ただし、A法に限る)及びC.8.2.5 (ただし、A法に限る) JIS A 6204 6.2.7 e) JIS A 6205 5.3.6 d)	-
				形状・寸法・質量・密度試験	コンクリートの長さ変化、中性化深さ	試験方法規格 JIS A 1129-2 JIS A 1152	-
						これらを引用する規格 JIS A 6204 6.2.7 f)	-
				セメント・混和剤(材)試験	セメントの凝結	試験方法規格 JIS R 5201 9	-

分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類(試 験方法の区分 の名称)	構成要素、 パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、 項目番号及び記号	特記 事項
(続き)	(続き)	(続き)	(続き)	これを引用する規格 JIS A 5308 附属書CのC.8.1.7及びC.8.2.4	-
		湿式重量・減 量・残分・灰分 試験	練混ぜ水の懸濁物 質の量、溶解性蒸 発残留物の量	試験方法規格 JIS A 5308 附属書CのC.8.1.4及びC.8.1.5	-
		溶液中の塩化 物イオン量試 験(電位差滴定 方法)	細骨材の塩化物量、練 混ぜ水の塩化物イオン 量	試験方法規格 JIS K 0113 5. これを引用する規格 JIS A 1144 4 c) JIS A 5308 附属書AのA.10 p)、附属書CのC.8.1.6及び C.8.2.3	-

備考：認定の区分は、官報及び認定機関のホームページ等で公表された最新版の区分表が適用される。

(以上)